

第1学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価						言語活動			
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語	評価規準				
4月		-	みつけたよ	・絵から見つけた言葉や想像したことなどを先生や友達に話し、話すことに慣れる。	4	-	○	○						【関】絵から見つけたことや想像したことを、みんなに話そうとしている。 【話聞】絵から見つけたことや想像したことを、みんなに話している。	絵から見つけたことを話したり、聞いたりする。☆	
		-	はきはきあいさつ	・場面に合わせて、はっきりとあいさつをする。	2	-	○	○						【関】あいさつの言葉に興味をもち、周りの人にあいさつをしようとしている。 【話聞】挿絵の場面や生活の中の場面に応じたあいさつの言葉を考えて言っている。	場面に合わせてあいさつをする。 A(2)ウ	
		-	ほんがたくさん	・本に興味を持ち、読み聞かせを楽しんだり、読みたい本を選んだりする。	3	-	○				○			【関】本に興味をもち、好きな本を選ぼうとしている。 【読】読み聞かせを楽しんで聞いたり、選んだ本を見たりしている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 物語の読み聞かせを聞く。C(2)イ	
		-	じをかこう	・言葉や文字に関心を持ち、平仮名を書く。	3	-	○					○			【関】平仮名に興味をもち、丁寧に書こうとしている。 【言】書くときの姿勢や鉛筆の持ち方、字形や筆順に気をつけて、平仮名を書いている。	
		-	あいうえおのうた	・語のまとまりや、音と文字とのつながりを意識して読んだり書いたりする。	5	-	○				○	○			【関】「あいうえおのうた」を楽しんで音読したり、言葉集めをしたりしようとしている。 【読】絵と言葉をつないで意味を考えながら音読している。 【言】姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、平仮名を書いている。	
		-	あめですよ	・言葉のリズムを楽しんで読む。	4	-	○					○			【関】言葉のリズムを楽しんで、お話を読もうとしている。 【読】絵と文を結び、登場人物の様子や気持ちを想像しながら読んでいる。	絵と文を結び、内容を想像しながら読む。☆
		-	ふたとぶた	・清音と濁音・半濁音との違いを理解し、正しく読み書きして、言葉への関心を持つ。	3	-	○					○			【関】濁音・半濁音を含む語に関心をもち、言葉集めをしようとしている。 【言】濁音・半濁音を含む語を正しく読んだり書いたりしている。	

5月	-	みんなにつたえよう	・みんなの前で丁寧な言葉づかいで話すことに慣れる。	3	-	○	○				【関】自分のことを話したり、友達の話を聞いたりする活動に楽しんで取り組もうとしている。 【話聞】話型に注意して話している。友達の話をしっかり聞いている。	知らせたいことを身近な人に紹介したり、それを聞いたりする。A(2)エ	
	-	ねことねっこ	・促音を正しく読み書きして、言葉への関心を持つ。	3	-	○				○	【関】促音を含む語に関心を持ち、言葉集めをしようとしている。 【言】促音を含む語を正しく発音したり読み書きしたりしている。		
	-	ことばあそび	・言葉遊びを通して語や文字についての関心を高め、平仮名の読み書きに習熟する。	3	-	○				○	【関】言葉遊びに興味をもち、楽しんで取り組もうとしている。 【言】しりとりやクロスワードなどの言葉遊びの仕組みを理解し、当てはまる言葉を探している。		
	-	あひるのあくび	・言葉のリズムを楽しみながら詩を音読し、五十音表について理解する。	4	-	○				○	○	【関】言葉のリズムを楽しみ、詩を音読しようとしている。 【読】語のまとまりに気をつけて、「あひるのあくび」を音読している。 【言】五十音表の特徴を理解し、正しく読み書きしている。	語のまとまりに気をつけて音読する。 ☆
	-	ぶんをつくろう	・助詞「が」が使って主語と述語のある文を書く。	3	-	○				○	○	【関】助詞「が」を使って文を書こうとしている。 【書】主語と述語のつながりを考えて文を書いている。 【言】主語と述語の関係や句点の使い方を理解している。	主語と述語のつながりを考えて文を書く。☆
1学期	-	かいら	・様子を思い浮かべながらお話を楽しんで読む。 《単元の評価規準》 【関】場面の様子を想像しながら、お話を楽しんで読もうとしている。 【読】挿し絵や会話文を手がかりに、場面の様子を想像しながら読んでいる。 【言】言葉に意味による語句のまとまりがある事に気付いている。	5	-	○					【関】場面の様子を想像しながら、お話を楽しんで読もうとしている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア	
	【読】一番好きな貝殻がうさぎのことと同じだったことで貝がらをあげられずに帰るくまのこの気持ちになって話している。										会話文や挿し絵を手がかりに読み取ったことをもとにして、くまのこやうさぎのこに伝えたいことを話す。		
	【読】大好きな友だちに一番いいものをあげようと一生懸命考えた、くまのこの気持ちになって話している。												
	【読】一番お気に入りの貝殻をあげたくまのこと、もらったうさぎのこの気持ちになって話している。												

6月

									○	【読】くまのこやうさぎのこに伝えたいことを自分なりの言葉で話している。	
-	おばさんとおばあさん	・長音を正しく読み書きして、言葉への関心を持つ。	3	-	○				○	【関】長音を含む語に関心をもち、長音を正しく表記しようとしている。 【言】長音を含む語を正しく発音したり読み書きしたりしている。	
-	「はへを」をつかってぶんをつくらう	・助詞「は」「へ」「を」を正しく使って、文を書く。	3	-	○			○	○	【関】助詞「は」「へ」「を」を使って文を書こうとしている。 【書】語と語のつながりを考えて文を書いている。 【言】助詞「は」「へ」「を」を正しく使って文を書いている。	語と語の続き方に注意してつながりのある文を書く。☆
-	こえのゆうぶんやさん	・話をしっかり聞いて、他の人に正しく伝える。	3	-	○		○			【関】人に伝えるために、しっかりと聞こうとしている。 【話聞】話を集中して聞き、聞いたことを正しく伝えている。	大事なことを落とさないように聞く。☆
-	よんでねきいてね	・自分の経験を短い文で書いて相手に伝える。	4	-	○			○		【関】伝えたい経験を選び、文に書こうとしている。 【書】経験したことを思い出し、短い文で書いている。	つながりのある文を書く。☆
-	どうやってみをまもるのかな	・書かれている内容を正しく読み取る。	6	-	○				○	【関】動物の身の守り方に興味をもち、正しく読み取ろうとしている。 【読】文章のまとまりをとらえ、問いかけの文とそれに対する説明の内容を正しく読み取っている。	事物の仕組みなどについて説明した文章を読む。C(2)ウ
-	いしやといしや	・拗音を正しく読み書きして、言葉への関心を持つ。	3	-	○				○	【関】拗音を含む語に関心をもち、拗音を正しく表記しようとしている。 【言】拗音を含む語を正しく発音したり読み書きしている。	
-	こんなことしたよ	・経験したことから題材を選び、文章に書いて知らせる。	4	-	○			○		【関】自分の経験したことや感じたことを振り返り、伝えようとしている。 【書】相手意識を持ち、主述の照応や句読点の表記などに注意して、文章を書いている。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ

7月	-	おおきなかぶ	・様子を想像しながら、お話のおもしろさを楽しんで読む。	6	-	○				○	【関】お話に興味をもち、場面の展開を楽しんで読もうとしている。 【読】次々に人物が加わる様子や、かぶが抜けたときの気持ちを想像して読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア	
	-	ほんはともだち	・読みたい本を探して読み、読書を楽しむ。	3	-	○				○	【関】読みたい本を見つけようとしている。 【読】読みたい本を選んで、読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア	
	-	えにつきをかこう	・生活の中で経験したことを絵日記で伝える。	4	-	○				○	【関】心に残った経験を思い出し、絵と文章で伝えようとしている。 【書】どんな出来事が伝わるように、絵と文章で表現している。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ	
9月	-	あるけあるけ／木	・詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。	3	-	○				○	【関】詩に興味をもち、楽しんで音読しようとしている。 【読】はっきりした発音で音読している。言葉の響きを楽しんだり様子を想像したりしながら音読している。	言葉の響きに気をつけて音読する。☆	
	-	はなしたいな ききたいな	・夏休みの出来事の中から伝えたいことを話す。話を聞いて感想を述べたり質問したりする。	5	-	○	○				【関】夏休みの思い出を楽しく話したり聞いたりしようとしている。 【話聞】夏休みの出来事について、3文程度ではっきりと話している。友達の話や、興味をもって聞いている。	経験の報告をしたり、それを聞いて感想を述べたりする。A(2)ア	
	-	かぞえうた	・漢字に対する興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	5	-	○				○	○	【関】漢数字やものの数え方に興味をもち、漢字を使おうとしている。 【読】「かぞえうた」を、言葉の意味を考えながらリズムよく音読している。 【言】漢数字の読み方、書き方を知り、正しく使っている。	言葉の響きに気をつけて音読する。☆
	-	おもいだしてかこう	・経験したことを思い出して、会話を取り入れて文章を書く。	5	-	○				○		【関】経験したことをよく思い出して伝えようとしている。 【書】文と文の続き方に注意して、経験したことが分かるように書いている。会話を取り入れて書いている。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ

	-	かんじのはなし	・漢字の成り立ちに興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	5	-	○			○	○	【関】漢字の成り立ちに興味をもち、漢字を使おうとしている。 【読】一つ一つの漢字の成り立ちを読み取り、それをもとに他の漢字の成り立ちを考えている。 【言】漢字の読み方、書き方を知り、正しく使っている。	内容を考えながら読む。☆
10月	おはなしをたのしんでよう	サラダでげんき	・人物が登場する順序に注意し、だれが何をしたかに気をつけて読む。	15	30	○			○	○	【関】お話に興味をもち、楽しんで読もうとしている。 【読】人物の登場する順序や人物の行動に気をつけて、想像を広げながら読んでいる。 【言】片仮名で書く語の種類を知り読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア サラダに入れるとよいものをりっちゃんに教えてあげる手紙を書き、友だちと紹介し合う。
		かたかなをかこう	・片仮名の書き方を理解し、片仮名表記をする言葉を集めて短文を書く。	3		○		○	○	【関】片仮名に関心をもち、片仮名で表記する言葉を集め、書こうとしている。 【書】語と語の続き方に気をつけて、つながりのある文を書いている。 【言】片仮名の表記の仕方を理解し、片仮名で表記する言葉を書いている。	語と語の続き方に注意しながら、つながりのある文を書く。☆	
		わたしのはっけん	・身の回りのものをよく見て、気づいたことを文章に書く。	11		○		○	○	○	【関】観察したことをカードや文章に書き、伝えようとしている。 【書】動植物の様子をよく観察して、書くために必要な材料を集め、言葉や文のつながりを考えて文章を書いている。 【言】新出漢字を読み、文の中で使っている。	観察したことを記録する文章を書く。B(2)イ
		かんじのれんしゅう		1								
	のりものごとをしらべよう	いろいろなふね	・書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取る。 《単元の評価規準》 【関】乗り物に興味をもち、意欲的に調べたり発表したりしようとしている。 【読】それぞれの船の特徴を正しく読み取っている。 【言】文の中における主語と述語との関係に注意	13	38	○			○	○	「ふね」が「まとめてよぶことば」であることを理解し、船に対して興味をもち、教材文を読もうとしている。 教材文が4種類の船に書かれていて、それぞれ何をするための船なのかを確認しながら読んでいる。 「客船」と「フェリーボート」の役目と構造を読み取っている。 「客船」と「フェリーボート」の役目と構造を読み取り、基本の文型を理解している。	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むC(2)ウ 学習した文型を使って書いた乗り物紹介カードの発表会をする。☆

2 学期
11 月

	している。	
「すきなもののクイズ」をしよう	・伝えたいことをはっきり話したり、聞いてことについて質問したりして対話をする。	8
日づけと曜日をおぼえよう	・日付と曜日の呼び方や漢字表記を理解し、正しく読み書きする。	4
じゅんじょよくかう	・経験したことを思い出して、順序よく書く。	8

				○	漁船と消防艇のや役目と装備を読み取っている。	
				○	それぞれの船の特徴を正しく読み取っている。	
				○	「いろいろなふね」で学習した文型や言葉を参考にして乗り物について説明する文章を書いている。	
○					乗り物に興味をもち、いろいろな乗り物の本を読もうとしている。	
				○	紹介したい乗り物を選び、「役目」「構造や装備」「機能(使い方)」に着目しながら調べている。	
				○	主語と述語の関係に注意し、乗り物について説明する文を書いている。	
				○		
				○	学習した文型を意識しながら、発表したり聞いたりしている。	
				○		
○	○				【関】好きなものについて興味をもって話し合おうとしている。 【話聞】好きなものに関するヒントをはっきりと話したり、分からないことを質問したりしている。	尋ねたり応答したりする。A(2)イ
○		○		○	【関】日付と曜日の呼び方と漢字表記に興味をもって使おうとしている。 【書】語と語の続き方に気をつけて、つながりのある文を書いている。 【言】日付や曜日の漢字を、正しく読んだり書いたりしている。	語と語の続きに注意しながら、つながりのある文を書く。☆
○		○			【関】経験したことを思い出して、文章に書こうとしている。 【書】したことの順序に沿って、そのときの様子や気持ちを思い出して書いている。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ

	よつ	たのしかったね、 一年生 かたかなのれん しゅう	・1年間を振り返り、心に 残った出来事を、様子が わかるように文章に書く。	9 1		○		○			【関】1年間の出来事を振り返り、新しい 一年生に伝える文章を書こうとしている。 【書】出来事の様子や自分の気持ちを思 い出し、事柄の順序に沿って文章を書い ている。	紹介したいことを文章に書く。B(2)エ
3 月	おはなしのし きなところを はっぴょうし よう	花いっぱいになあ れ	・お話を読み、好きなど ころを選んで発表する。	16	-	○			○	○	【関】お話の好きなどころを選び、楽しんで 音読しようとしている。 【読】場面の様子を想像しながら、言葉の 響きなどに気をつけて音読している。 【言】自分の気持ちに合った言葉を使って 感想を書いている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたり しながら読む。C(2)ア